

看護科学習指導案

石川県立田鶴浜高等学校・教諭

指導日時・教室 平成20年12月11日(木)6限目 教室名 21H教室
 対象生徒・集団 衛生看護科 2年(次)生38人(内訳 21H 38人)
 科目名 看護基礎医学「疾病の成り立ちと回復の過程」(単位数 1)
 使用教科書 看護基礎医学2(文部科学省)
 新看護学体系3 疾病の成り立ちと回復の促進①(メヂカルフレンド社)

1 単元名 アレルギー性疾患と膠原病

2 単元の目標

- ①免疫反応によりおこる身体の変化について関心を持ち、疾病の病態を理解しようとする。 【関心・意欲・態度】
 ②免疫に関する疾病の成り立ちや回復の過程を人体の構造と機能に関連性を持たせて考えられる。 【思考・判断】
 ③免疫反応に関する疾病の成り立ちや回復の過程における人体の変化について理解を深め、自分の言葉で述べられる。 【技能・表現】
 ④感染防御にとどまらず、健康な生体の恒常性の維持の根幹となる免疫反応の成り立ちと免疫に関連するアレルギー疾患と膠原病の成り立ちが理解できる。 【知識・理解】

3 指導に当たって

(1) 生徒の状況

授業に対する姿勢は、非常に積極的で意欲・関心も高く、理解することに喜びを感じる生徒が多い。しかし、理解させるための工夫がなければ集中力の低下や私語の増加をまねく。また、ノートをとることに必死になり、説明を十分聴けないこともある。

生徒は、1年次に「人体の機能と構造」及び「感染と免疫」、2年次には、本教科の単元でも免疫に関連する臓器や細胞を既習している。しかし、体の中で起こる自己と非自己を認識する現象(免疫反応とアレルギー)について、既習した知識を統合させ理解するには至っていない。ひとつの生命現象としてその成り立ちを理解させる必要がある。

(2) 指導の方針・方法

看護を学ぶ面白さを感じさせるとともに、学習意欲を高める授業の組み立てが必要である。特に生徒がイメージしやすい図や比喻等を用い工夫する。また、集中力が低下せず、内容が理解できるための工夫として、説明を聞く時とノートをとる時の区別をはっきり指示することや授業内容の理解を促すために生徒間で授業内容を説明しあう時間を設ける。

(3) 教材選定の理由

看護の基礎知識として免疫を理解しておくことは非常に重要である。また、生徒にとっては、生命現象の不思議や面白さを感じられる学習内容でもあり、さらに専門的な知識を学ぶ看護への道の意欲向上につながると思われる。

4 単元の指導計画(総時数 3時間)

第一次 免疫反応 (1時間)
 1時 免疫反応って何?(免疫反応の成り立ち)・・・本時
 第二次 アレルギーとアレルギー性疾患(1時間)
 第三次 膠原病 (1時間)

5 本時の指導と評価の計画(第一次 第1時)

(1) 本時のねらい

- ・免疫反応に関心を持ち、理解した内容を整理して説明する。【関心・意欲・態度】
- ・免疫反応の成り立ちを理解する。【知識・理解】

(2) 準備・資料等 視聴覚教材 ワークシート 事後評価課題 テキスト 磁石 模造紙

(3) 本時の展開

時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】 (評価方法)
導入 5分	学習内容の確認 「免疫反応って何？」	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容とねらいを確認する。 ・免疫反応に関する細胞や臓器について想起する。 	<p>板書 免疫反応とアレルギー テーマ「免疫反応って何？」</p> <p>発問 (既習内容の確認) ・免疫に関する細胞や臓器は何か？ (「風邪」の症状を例に取り思考を促す。)</p> <p>予想 白血球、B細胞、T細胞、胸腺等</p>	
展開① 20分	(1)免疫に関する細胞と役割	<ul style="list-style-type: none"> ・免疫反応の定義について確認する。(教科書アンダーライン) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;">免疫反応に関する細胞とその働きを理解しよう</div> <ul style="list-style-type: none"> ・免疫に関する細胞を想起し、生体防御する細胞は何かを考える。 ・免疫反応に関する細胞の種類とその働きについて理解する。 	<p>板書 「自己と非自己を識別し、異質なものを排除することにより生体を防御する反応」</p> <p>発問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体の中で非自己を見つけ排除し、身体を守る (忍者のような) 細胞は、どの細胞がどのような働きをするのか？ (導入時の風邪と関連づけて思考を促す。) <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白血球を忍者 (5レンジャー) に例え白血球の種類とそれぞれの役割について図示しながら説明する。 ・自己と非自己を識別する役割の忍者 (5レンジャー)のうち、リンパ球、単球 (マクロファージ)、好中球が免疫の主演であることを押さえる。 ・一方的な説明にせず、内容を聞く問いを交えながら説明する。 <p>指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明を聞く時とノートをとる時のメリハリをつけて指示する。 	

展開② 20分	(2) 免疫反応のメカニズムと細胞性免疫・液性免疫	<div data-bbox="523 199 1150 280" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 免疫反応のメカニズムと細胞性免疫・液性免疫について理解しよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・免疫反応のメカニズムと細胞性免疫・液性免疫について理解する。 ・隣同士で理解した内容を整理しながら説明しあう。 ・まとめを聞き、思考を整理する。 	<div data-bbox="799 338 863 367" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">説明</div> <ul style="list-style-type: none"> ・識別から排除まで、3レンジャーがどのように働き、生体防御のメカニズムが成り立っているのか？ ・細胞性免疫と液性免疫とは何か？ ・図を用い、メカニズムを説明した後、細胞性免疫と液性免疫について説明する。 <div data-bbox="799 719 863 748" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">指示</div> <ul style="list-style-type: none"> ・説明する時は聞くことに集中するように指示する。 ・説明後、免疫反応のメカニズムと細胞性免疫・液性免疫について隣同士で説明するよう指示する。 ・机間指導し、質問や疑問を聞く。 <div data-bbox="799 1070 948 1099" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">板書まとめ</div> <ul style="list-style-type: none"> ・机間指導時の質問や疑問を全体に補足する。 ・免疫に関する細胞とその働き、免疫反応のメカニズム、細胞性免疫・液性免疫について再度まとめ、イメージを定着させる。 ・一方的に説明せず、内容を聞く問いを交えながらまとめる。 ・表情や質問等により、よく理解されていないようなら、免疫のメカニズムに戻り、再度説明する。 <div data-bbox="799 1597 863 1626" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">指示</div> <ul style="list-style-type: none"> ・説明を聞く時とノートをとる時のメリハリをつけて指示する。 	<p>免疫反応に関心を持ち、理解した内容を整理して説明する。 【関心・意欲・態度】 (観察)</p> <p>免疫反応の成り立ちを理解する。 【知識・理解】 (ワークシート)</p>
	まとめ 5分	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめと整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・免疫反応のポイントを整理し、まとめる。 ・課題を提示する。 ・次時の内容を予告し、予習について指示する。